



## 一般質問に27人が登壇

### 市立病院建て替えの 用地選定について



松本 浩一  
議員

今年の6月議会で「さまざま課題をクリアして、来年3月までに基本計画を策定し、5年後のオープンに向けて取り組んでいきたい」との答弁がありました。

既に昨年度には「再整備基本構想」が作られ、今年度に「基本計画」を策定することになっており、5年後の新病院完成に向けて、準備が着々と進められていると思います。予定では、今年度中に建て替え用地の選定、及び「基本計画」の策定となっていますが、現段階での進捗状況について伺います。

#### ○総合政策部長

基本計画については、施設規模や部門別の機能、設備等について具体的な検討を進めており、おおむねスケジュールどおりに進んでいます。用地選定は、どのくらいの敷地面積が必要か、また交通アクセス等の利便性や市内の

ほかの病院との位置関係、さらに用地取得の可能性や費用事業スケジュール等、多角的な比較検討が必要です。今後十分に検討し、できるだけ早い時期に議会にも説明して、決定したいと考えています。

#### ○市長

市立病院の再整備は、大変重要な施策として位置付けており、用地の選定も含めて、十分な検討をしていきます。

#### このほか

- 体育施設の拡充について
- 教職員の増員について
- 高齢者福祉センター「幸楽荘」について

### 児童虐待防止 対策について



五十嵐みどり  
議員

親が子を虐待する事件が絶えない昨今ですが、近年起きている虐待は孤立傾向の家庭で増えており、妊娠期からの親への支援や相談体制の充実が必要であると思われま

す。一方、児童虐待防止法には市民の通告義務があり、これまでも通告さえあれば子ども

の命の8割は救われたといわれ、市民の協力が必要です。

そこで、本市における「赤ちゃん・就学児童・幼児」への虐待防止の取り組みについて、休日や夜間も含めホームページや広報紙への電話相談や通告方法等の掲載状況について伺います。

#### ○健康保険担当部長

本市における赤ちゃんへの虐待防止の取り組みとしては、生後2カ月ごろの乳児のいるすべての家庭を母子保健推進員等が訪問する「かすかべびーず訪問事業」を平成20年度から行っています。

#### ○福祉健康部長

市ホームページでは児童虐待の連絡先として、こども家庭課等を紹介しています。休日夜間の児童虐待については、休日夜間児童虐待通報ダイヤルを紹介しています。また、広報紙でも児童虐待防止に関する情報を掲載しています。

#### このほか

- 小中学校で「弁当の日」の制定を行い、家族のきずなの構築を
- 学校の「老朽改修事業」について

○春日部市の災害訓練について

ごみ問題について



河井 美久 議員

大量生産や大量消費の社会を改め、リサイクルによる自然への負荷を最小限に抑える社会への転換を目指すために、平成12年に循環型社会形成推進基本法が制定されました。この法律のもと、各市町村では、ごみの減量化に向け独自の取り組みを進めています。本市における、ごみ収集の歴史を見ると、平成6年度には市内全域で5種12分別による資源分別収集が始まり、平成12年度には5種15分別による現在の資源分別収集が行われるなど、ごみの減量化・資源化の取り組みが積極的に行われてきたところです。

現在、本市では、家庭から排出されるごみの抑制を目的に、生ごみ処理器を購入した際には助成を行うなど、3M運動を推し進めています。しかし、今後のごみの最終処分場の問題などを考えると、ごみの排出をさらに抑制するためには、なお一層の取り組みが必要になると考えています。そこで、これまで本市が行ってきたごみの減量化への取り組みにより、どのくらいのごみの減量化が進められてきたのか、お聞かせください。

○環境経済部長

これまで本市が行ってきたごみの減量化への取り組みにより、ごみの年間発生量は、平成18年度の約6万2763トンから、平成21年度には約5万6199トンとなり、3年間で6564トン、率にして10・5%のごみの減量化が進められてきたところです。

安心 安全な  
まちについて



山崎 進 議員

安心して安全に、幸せに暮らせる生活環境をつくることは、行政の一番の仕事です。今、100歳以上の高齢者の方不明の事件が全国に広がっています。これは家族を含めた人間関係や地域のコミュニケーションの欠如が原因ではないでしょうか。安心安全

なまちをつくるためには、地域のコミュニケーションが基本だと思います。

また、公助、自助、共助という言葉がありますが、一番大切なのは、お互いに助け合う共助だと思います。特に災害時には、行政の助けを待つよりも、近所の助け合い、共助が大きな役割を果たします。

そこで、共助を位置付ける計画の策定や、共助を大切にする都市宣言を提案しますが、市の考えを伺います。

○市民部長  
共助とは、助け合いの精神であり、安心安全なまちに一番大切なものであると言えます。災害時には、まさに共助や地域コミュニティが重要です。また、共助なくして協働なしと言える面もあります。

そのため、総合振興計画の後期計画策定の際、ふれあいの施策の中に、共助を位置付けたいと考えます。また、地域コミュニティの推進により、共助の精神とともに、協働の推進も図りたいと考えます。

都市宣言については、十分研究したいと考えます。

このほか

○公共施設の予約について  
○財政について

春日部市の  
「まちづくり」について



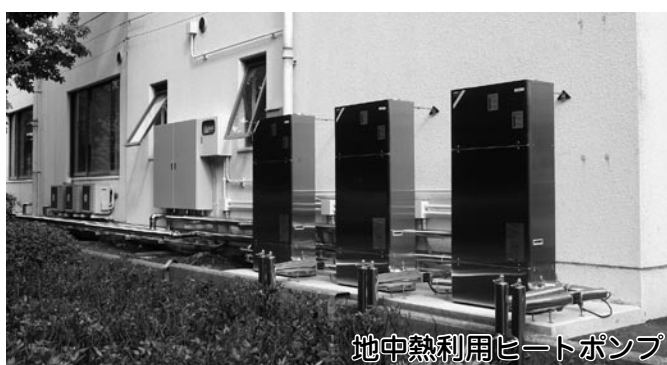
史 裕丸 議員

地球温暖化は、世界全体で取り組まなければならない問題です。2008年に開催された洞爺湖サミットでは、地球の環境問題を大きく取り上げ、2050年までに温室効果ガスを50%削減することが、長期目標として設定されました。本市は環境都市宣言を行い、低炭素都市推進協議会への参加も行っていきます。

また、国が進める先導的都市環境形成事業の指定を受け、ため、平成20年度にはエコまちづくりに着手し、平成21年度には「春日部市エコまちづくり計画」を策定しました。さらに平成22年度からは、この計画に基づき、いくつかの実証実験を行っていくと伺っています。

そこで、市役所別館1階事務室で行っている、地中熱を利用したヒートポンプの実証実験の概要を伺います。

○都市整備部長



地中熱利用ヒートポンプ

地中熱を利用したヒートポンプの実証実験は、市役所別館1階事務室の冷暖房に利用することによって行われています。

実証実験では、消費電力量や室内温度、湿度などの測定を行い、地中熱を利用したヒートポンプの効果や、普及に向けた課題の検討を行っています。

このほか

○地域力アップ提案事業について  
○ムクドリ対策について  
○高齢者の交通事故対策について



## 敬老祝金について



中川 朗 議員

本市は敬老祝金贈呈事業の見直しを行い、今年度から長寿祝金贈呈事業とし、運用の見直しも行いましたが、昨年度までの敬老祝金贈呈事業の運用に戻すべきです。

長寿祝金対象者の安否の確認方法や具体的な配布方法、安否の確認ができない高齢者への長寿祝金の取り扱いを伺います。100歳以上の高齢者に対しては毎年継続的に安否の確認を行うことを検討してはいかがでしょうか。

今後の長寿祝金贈呈事業に関する考え方も伺います。

### ○福祉健康部長

敬老祝金贈呈事業の見直しは、社会情勢の変化に合わせて、既存事業の見直しの必要性から行ったものです。対象者の安否確認は、88歳の高齢者の場合、民生委員が直接面会を行い、長寿祝金を手渡ししています。所在が不明な高齢者への長寿祝金の贈呈は行っ

ていません。100歳以上の高齢者については、自宅を訪問し安否確認を行っています。

### ○市長

今般、100歳以上の高齢者の安否確認の重要性を再確認したところです。このことへの対応を含め、ご提案の100歳以上のすべての高齢者へ、長寿祝金の贈呈を検討していきたいと考えています。

### このほか

○職員のメンタルヘルスについて

○良好な生活環境の確保に関する条例の制定について

○中1ギャップについて



## 敬老祝金の復活と見守りの充実を



渡辺 浩美 議員

敬老祝金は、今年、対象者を大幅に減らし、長寿祝金になりました。

高齢者の方々は、戦後の日本を支え、発展させてきた方々です。敬老祝金は「今までご苦労さまです、元気で長生きしてください」という感謝の気持ちを表すのに必要だと考えます。

75歳以上のすべての方に贈るものだと考えますが、せめて昨年度の基準に対象者を戻すべきだと考えますが、市の考えを伺います。

また、事有るごとに、いろいろな形で自宅に訪問し、確認することが、見守り体制の充実につながります。

祝金は手渡ししているとのことですが、今後も継続して、本人に直接お祝いの言葉を伝えながら渡していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

### ○福祉健康部長

今後も持続可能な事業として見直しをしたものです。

高齢者への敬老の気持ちを高める直接的な事業としては、敬老会開催事業、長寿祝金贈呈事業があります。

### ○市長

安否確認の重要性も再確認したところなので、100歳以上の方々への贈呈について検討していきます。

### このほか

○子育てしやすい、老後も安心の武里団地にするために

○中学校の部活動の充実を

○地域ごとに児童館の計画的設置を

## 保育所、小中学校のトイレの異臭除去について



荒木 洋美 議員

先日、市内の保育所及び小中学校を視察した際、トイレから異臭のする所が何か所かありました。

宇都宮市では、トイレ清掃は年1回、専門業者によるトイレ清掃（①尿石のかき出し、②薬品洗浄、③高圧水洗浄、④研磨洗浄）、及びオゾン洗

浄（天井・床・壁の洗浄及び目地の清掃）となっております。費用は1校当たり30万円程度となっております。

保育所、小中学校の児童生徒の環境改善のためにも、ぜひオゾン洗浄を導入していただきたいと思いますが、市の考えを伺います。

### ○福祉健康部長

保育所のトイレは、必要に応じて順次改修を実施していきます。オゾン洗浄については、日常的なトイレの衛生管理、異臭対策の選択肢の1つとして考えていきます。

### ○学校教育部長

小中学校のトイレは、経年劣化もあり、根本的な解決のためには設備の改修が必要です。現在、耐震補強工事を最優先課題として取り組んでおり、これに併せてトイレ改修を含めた建物の寿命を延ばす改修を検討しています。

オゾン洗浄については、他市の事例や効果、持続性等を早急に調査研究し、学校施設の環境改善のため、前向きに取り組むたいと考えています。

### このほか

○学校教育について

○庄和図書館の開館記念の取り組みについて

## 春バスの抜本的拡充を



秋山 文和 議員

春バスは、公共交通のなかつた地域の方々にとって大きな喜びとなり、安心となっています。しかし、地域の方々が身近な市議会議員に、また自治会を通して、また個人の声として、多様な春バス充実への思いを寄せています。事実、市議会でも多くの議員が、それぞれの立場で充実に求める発言をしています。市民や議会の意向を受け、春バスの抜本的拡充に対する市の考えを伺います。また、65歳以上の方の無料化を提案しますが、いかがでしょうか。

### ○都市整備部長

65歳以上の方の無料化は、受益者負担による公平性や、春バスの安定的な継続運行を図るためには難しいと考えて

います。また、現行の料金は、市民及び高齢者アンケートの結果から、応分の負担は必要との回答を得て運行しており、無料化の考えはありません。

バスやタクシー事業者との共存共栄については、事業者も参加している地域公共交通活性化協議会の中で、引き続き検討します。

### ○市長

創意工夫し、よりよい方策を考え、路線の見直し、充実に図るべきと考えています。

### このほか

○財政見直しについて

○公契約条例づくりを

## 公有財産の有効活用について



小久保博史 議員

公有財産の1つである市民プールについては、今年度は休止し、これから老朽化の実態を把握することです。ここで多少の時間をかけてでも、全体的な位置付けの中で市民プールをどうするべきかを考えています。だからこそ、切り捨

## 地デジ対策について



栗原 信司 議員

来年7月の地上デジタル放送への切り替えまで、1年を

送りました。マスコミ報道では全国のおよそ8割程度は地デジへの対応が済んでいるような発表がされていましたが、春日部市の現状はどうでしょうか。また、地デジの相談会に行けなかったり、あるいは地デジへの関心が薄い人などの対策はどうなのでしょう。また現在、公共施設の建物により、受信障害を受けている対象世帯などはどうでしょうか。現状と今後の支援策について伺います。

### ○総合政策部長

市の公共施設は、公民館や小中学校を優先して、地上デジタル放送が受信できるよう地デジ対策を進めています。未対応の公共施設については、今年度及び来年度に工事を予定しており、来年7月のアナログ放送終了までに工事を完了します。

### ○環境経済部長

現在、公共施設による電波障害を受けていると思われる対象世帯は415世帯であり、そのうち31世帯が引き続き電波障害が予想されます。

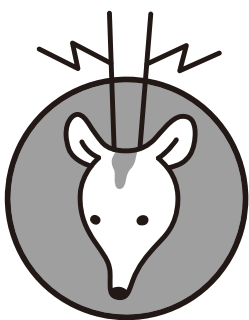
これらの世帯へは、高感度アンテナの取り付けなど、適切な対策を取っていきます。

### このほか

○うつ病や自殺などの防止対策として、携帯電話を利用したメンタルセルフチェックの導入を

○補聴器の補助拡充を

○会之堀川周辺の地盤沈下対策について



## 2011年7月完了 地デジ化

Analog broadcast will fully switch over to Digital broadcast by July 2011.  
©日本民間放送連盟 2009



## 市職員の人材育成 人材確保について



滝澤 英明 議員

職員の人材育成、人材確保の中から、まず市立病院の事務職について伺います。病院事務部のほとんどの職員は、市長部局の職員が人事異動で配置されていますが、この体制では専門性の育成が難しく、経営環境の変化に迅速、柔軟に対応できません。病院の経営力強化のためには、即戦力としての人材確保と、専門家としての人材育成が重要です。そこで、市立病院事務職の専門化についての考えを伺います。また、病院の再整備に向けて即戦力を確保するために、任期付職員を採用することについての考えを伺います。

### ○病院事務部長

病院事務職の専門化については、病院経営や医療事務、IT関連業務など専門性の高い業務について、市長部局と

協議しながら検討します。  
○病院事業管理者  
事務職員の専門化の必要性は、強く認識しています。また、再整備においては、任期付職員の採用は、ぜひ必要だと考えています。

### ○総務部長

人材育成としては、春日部市人材育成基本方針に基づき、積極的に取り組んでいます。特に、本年度はメンター制度を導入し、大きな成果を上げています。任期付職員の採用については、今後必要とされる職種に早く配置ができるよう努めます。

## 広報体制の 改善について



井上 英治 議員

今年の5月、ベルギーの音楽祭で豊春混声合唱団が最高位を獲得したニュースは、市民に大々的にお知らせするべきものだと思いますが、市の広報には全く出ていません。また、昨年暮れ、NHK紅白歌合戦にも豊春中学校の合唱部は出演しましたし、テレビ

朝日の30人31脚には南桜井小学校が出場し、全国で3位になりましたが、これらも広報には取り上げられていません。そこで、市の広報体制について、話題性の判断基準、広報への掲載基準、マスコミ活用方法などについて伺います。

また、学校給食で大臣表彰を何度も受賞するなど、市が全国レベルで上位になる項目を拾い上げ、「頑張る春日部ベストテン」などとしてPRする提案はいかがでしょうか。

### ○秘書広報防災担当部長

市の広報の内容は、広報発行事務取扱基準に基づいて情報提供をしています。また、マスコミへは、春日部記者クラブを通じて情報提供しています。すべてのテレビ出演等を取り上げることは困難ですが、今後は関係部署と連携を密にして対応していきます。ベストテン方式でのPRは、春日部のブランド発信に大変有効だと考えますので、データの収集、分析、評価方法等を含め、研究していきます。

### このほか

- 春日部の祭りのあり方
- 鉄道高架のあるべき姿
- 東武伊勢崎線第120号踏切の安全確保について

## 庄和図書館の蔵書の充実と 通いやすくするための 交通網の整備を



大野とし子 議員

庄和図書館は、緑豊かな公園の中に立地し、市民が憩い学べる滞在型図書館として開館します。しかし、開館時の蔵書数は新書1万7千冊を含め3万7千冊です。庄和図書館に収納できる蔵書数は、8万3千冊です。市民が知りたと思う情報がそろう豊かな図書館にしていきたいために、今後の蔵書計画が重要です。

また、図書館への交通網の整備が求められます。当面、南桜井駅からの交通網の整備をするべきと考えます。併せて西宝珠花地区を含め北部地域からのバス交通の改善について、住民の切なる願いがあり、何らかの工夫をするべきと考えます。

今後の蔵書計画と交通網の整備について伺います。

### ○社会教育部長

市民のニーズを把握して購入を進め、早い時期に蔵書計画数に到達できるように、予算

の確保も含め努力します。

### ○都市整備部長

南桜井駅からは軽微な変更を行い、午前8時から午後7時までの間で、ほぼ各時間帯の運行を予定しています。北部地域からの路線については、軽微な変更によるルートの変更ができないことから、現時点では行うことができません。

### このほか

- きちんとした庄和総合公園の整備を
- 敬老会の開催の充実と祝い品を全員に
- 福祉タクシー券、ガソリン券の枚数の復活を



庄和図書館